



# 令和7年度 研修案内



新規採用職員研修（県階層別研修）



詳細設計と現場のチェックポイント



現場監督員実務研修（市町階層別研修）



ICT活用工事



# 研修計画

## 1 研修の基本方針

職場のJ Tでは学びきれない専門知識の底上げを行い、職員の技術力向上を支援します

建設技術担当者として知識の習得が必要な基本的な講座と、より専門知識の習得が必要な実践的な講座を組み合わせ、年間37講座を開催します。

体験型研修として演習・実習科目を積極的に導入し『実践的な研修を実施』します

段階的に学べるように関連する研修については『研修コースの受講を推奨』します

I C Tを活用した研修を効果的に取り入れて『より多くの受講機会を確保』します

## 2 研修コースの設定（受講の推奨）

段階的に学べるように関連する研修については研修コースを設定し、年間通じて技術力の向上を図れるよう研修コースの受講を推奨します。

### 年間通じて研修コースで学びませんか？

#### 研修コース（受講の推奨）

こんな方におすすめです

道路計画・交差点改良の考え方や実例を学びたい

#### 道路計画コース

道路計画

7/18

交差点計画

8/8

アスファルト

8/29

※ 交差点計画は2年に1回の実施

総合治水や機械設備の維持管理・点検を学びたい

#### 河川計画コース

ダム

5/13~14

土木機械設備

10/17

河川講習会

1月

コンクリートの性質、橋梁点検や補修を学びたい

#### メンテナンスコース

コンクリート

8/1

P C 橋

10/10

道路橋メンテナンス

2月

設計演習を通じて設計照査のポイントを学びたい

#### 構造物設計コース

土質設計基礎

7/3

切土・盛土設計

8/22

擁壁設計

10/30

仮設構造物

12/5

※ 土質設計演習基礎編は土質設計演習中級編と隔年実施

## 3 研修の開催方式

従来の対面研修に加え、I C Tを活用した研修（ハイブリッド研修・オンデマンド研修）を効果的に取り入れて開催します。

#### 対面研修

講師と受講者が一堂に集まり対面式で受講できます。

#### ハイブリッド研修

対面研修の状況を通信端末へライブ中継し職場等でもリアルタイムで受講できます。

#### オンデマンド研修

録画配信のため、都合のいい時間・場所で受講できます。

# 申し込みから受講まで

## 1 研修の申し込み

- ・研修開催日の約3週間前に、県・市町等の研修事務担当者様へ、研修の実施要領とプログラム、参加申し込み書をセンター研修担当アドレス（下記）からメールでご案内します。
- ・県・市町等の研修事務担当者様において、申し込み期日までに受講希望者を取りまとめの上、「研修管理システム」でお申し込みください。

☑ センター研修担当 E-mailアドレス

「kenshu@hyogo-ctc.or.jp」企画調整課 研修担当

## 2 受講決定通知書

- ・研修開催日の約10日前に、県・市町等の研修事務担当者様へ「受講決定通知書」をメール送信します。受講者へメール転送等のご連絡をお願いします。

## 3 受講当日など

- ・研修会場は原則、座席指定のため受付は行いません。受講決定通知書の提示も不要です。
- ・請求書は、研修後、約2週間以内に電子請求書発行システムを介して電子請求を行います。

☑ 電子請求書発行システムの利用全般に関するお問い合わせ

総務部 財務第1課 ☎078-367-1231

☑ 請求額や請求書に記載した内訳に関するお問い合わせ

企画部 企画調整課 ☎078-367-1224

# 受講者の声（研修レポート）

《 》 令和6年度 受講者数

### 市町職員階層別研修 新人・初級

【前期】48人 【後期】29人

- ・公共事業の現状を理解し、また技術者が減少するなかでより効率的な事業推進が求められることを学んだ。
- ・測量実習は全員が全ての役割を一巡するため、より理解が深まった。



### アスファルト舗装の基礎知識研修《62人》

【ハイブリッド研修】

- ・基本的な内容から実務に役立つ内容まで幅広く網羅されており、有意義な一日であった。
- ・演習、動画視聴、体験学習が組み合わせられ、大変わかりやすい。



### 構造物設計演習（擁壁）《54人》

- ・担当している現場と類似の条件の事例があり、設計照査のチェックポイントなど大変勉強になった。
- ・演習問題を数こなすことで理解が深まった。
- ・擁壁安定計算の流れや計算式の意味が理解できた。



### ICT活用工事《32人》

- ・基礎知識（積算方法・現場監督のポイント・積算を行う留意点）を学び、ICT活用工事への理解が深まった。
- ・実習（体験）を通じて、現場での効率化が図られていることを実感し、取り組めるところから始めたい。



# 部門別の研修実施予定一覧

## 県職員階層別研修（兵庫県と共催）

受講者指定

部門	研修コース	日程	会場	募集人数	研修目的
県職員階層別研修	1 新規採用職員研修（前期）	5/14～16	兵庫県庁西館		令和7年4月に新規採用された総合土木職員を対象に、技術公務員の仕事、土木の基礎知識、設計書作成、工事監理等により技術公務員としての不可欠な基礎知識を修得し、職務を適切に遂行する能力を養う。
	2 新規採用職員研修（後期）	9/18～19	女性交流会館		令和7年4月に新規採用された総合土木職員を対象に、県が実施している社会基盤施設老朽化対策を学ぶとともに、新規採用職員研修（前期）をフォローアップし、より実務に即した研修を行う。
	3 新規採用職員研修（実習）	10/22～24	三田建設技能センター他		新規採用された総合土木職員を対象に、現地測量から数量計算までの全体の手順を習得することを目的に実務に即した研修を行う。
	4 フォローアップ研修（前期）	6/23	神戸市教育会館		採用2年目の総合土木職員を対象に業者指導（工事・コンサルタント）のポイント、施工計画書の確認演習等の研修を行い、技術職員として技術力の向上を図る。
	5 フォローアップ研修（後期）	8/1	〃		採用3年目の総合土木職員を対象に成績評定の実務などの講義や詳細設計成果品の確認演習を行い、技術職員として更なる技術力の向上を図る。
	6 中級研修	11/21	姫路市文化コンベンションセンター		採用5年目の総合土木職員を対象に、個別事業の推進に必要な技術的スキルを身につけ、総合土木職員としてのレベルアップを図る。
	7 主任研修	11/14	兵庫県中央労働センター		主任に昇格した総合土木職員を対象に、職場を牽引する中堅職員として自立し、事業推進にあたっての総括的な業務等を学ぶ。
	8 主査研修	11/7	神戸市教育会館		主査に昇格した総合土木職員を対象に、組織として主幹・課長を補佐し、組織を運営する力を養成する。
	9 主幹・課長研修	5/7	女性交流会館		主幹・課長を対象に監督職としての心構えや役割等を学ぶ。

## 市町職員階層別研修

部門	研修コース	日程	会場	募集人数	研修目的
市町建設事業担当職員研修	1 新人・初級研修 [前期]	5/22～23	私学会館	60人	建設事業の経験が概ね3年以内の職員を対象に、技術公務員の仕事、土木工事の監督基礎、土木工事の積算演習を行い、職務に必要な基礎知識を習得する。
	2 新人・初級研修 [後期]	9/25 10/2・3	生石研修センター 神戸トレーニングセンター	50人	建設事業の経験が概ね3年以内の職員を対象に、測量実習（ホール横断測量と水準測量）、またICT活用工事における県の取組みに理解を深めるとともに実践的な演習・実習を通じて職務に必要な基礎知識を習得する。
	3 現場監督実務研修	12/10	国土交通省近畿技術事務所	20人	施工不良の排水性舗装及び実物大のCon構造物模型を用いた品質管理やAs舗装の検査技術の体験実習を通じ、現場監督員として必要な設計・施工・品質管理・検査の実務能力の向上を図る。

## 専門分野別研修

部門	研修コース	日程	会場	募集人数	対象者		研修目的
					県	市町	
道路・橋梁	1 道路計画演習	7/18	私学会館	40人	●	●	道路の基本条件の考え方と演習、道路線形に関する考え方と演習、道路計画演習を行い、道路計画の立案、設計についての基本的技術を習得する。
	2 交差点計画演習	8/8	〃	40人	●	●	道路構造令とその運用上の留意点・注意事項等についての解説と、演習を通じて適切な計画の立案、設計のポイントを習得するほか、公安協議のチェックポイントを学ぶことで実務能力の向上を図る。
	3 As舗装の基礎知識【ハイブリッド】	8/29	〃	80人	●	●	舗装の施工及び施工管理、舗装の維持補修と工法の選定、T A法によるAs舗装設計演習の研修を行い、施工及び施工管理の留意点等について理解を深める。
	4 コンクリートの基礎知識【ハイブリッド】	8/1	私学会館	80人	●	●	コンクリートの基本的性質、施工管理の要点、構造物の劣化原因とその影響、調査診断、補強における設計・施工の留意点等により、施工から維持管理までの一連の基礎知識を習得する。
	5 PC橋【ハイブリッド】	10/10	〃	80人	●	●	プレストレスト・コンクリート橋（PC橋）の基本と橋梁形式について解説し、PC橋に関する基礎知識を習得するとともに、実務能力の向上を図る。〔鋼橋との隔年実施〕
	6 道路橋メンテナンス【ハイブリッド】	1/30	調整中	60人	●	●	社会基盤施設が急速に老朽化しており、計画的・効率的な対策が望まれる中、「橋梁」の基礎知識や点検方法並びに補修事例に関する講義を行い、技術力向上を図る。

# 部門別の研修実施予定一覧

## ▶▶▶ 専門分野別研修

部門	研修コース		日程	会場	募集人数	対象者		研修目的	
						県	市町		
河川・砂防	7	河川講習会	1/14	調整中	40人	●	●	流域治水を踏まえた河川計画や、多自然川づくりの事例の研修により、環境に配慮した川づくりに関する基本的知識を習得する。	
	8	土木機械設備 (河川・海岸)	10/17	姫路労働会館	40人	●	●	老朽化が進む土木機械設備(排水機場等)の点検・整備に関する基準、要領等の解説及びポンプ設備の仕組みや維持管理及び故障対応を学び、排水機場の見学を通じて土木機械設備の基礎知識を習得する。	
	9	ダム	基礎	5/13	私学会館	40人	●	●	ダム管理を行う上で必要となる、ダムの維持管理・点検に係る留意点や機械・電気設備の概要について学ぶとともに、ダムの安全管理のための計測や、巡視・点検等の現地実習を通じて、ダムに関する基礎知識の習得と実務能力の向上を図る。
			実務	5/14	青野ダム	24人	●	●	
10	砂防及び急傾斜地	8/26	私学会館	40人	●	●	砂防事業を行う上で必要となる、砂防及び急傾斜地の計画策定並びに施設設計に係る留意点などの基礎知識の習得を図る。		
災害	11	災害復旧実務研修 【オンデマンド】	7/18 ~8/12	-	-	●	●	災害復旧の実務経験が少ない職員を対象に、災害査定設計書作成における留意事項等の基礎知識を習得し、被災した公共土木施設の被災メカニズムを把握して、災害復旧に関する実務能力向上を図る。	
構造物設計	12	詳細設計と現場の チェックポイント 【ハイブリッド】	6/26	私学会館	80人	●	●	設計ミスの事例から施工条件に基づく詳細設計のチェックポイントや照査の着眼点を学び、工事検査の知識と必要なスキルを習得することで現場監督員としての実務能力の向上を図る。	
	13	地盤調査 (土質設計演習基礎編)	7/ 3	"	40人	●	●	地盤調査の基礎や土質調査結果の見方など、土木構造物設計(基礎工)の基本を学ぶとともに、直接基礎の支持力計算演習(基礎編)を通じ、土木構造物設計の基本的知識の習得を図る。〔土質設計演習中級編との隔年実施〕	
	14	地盤調査 (切土・盛土設計)	8/22	"	40人	●	●	構造物設計に必要な地盤調査と設計土質定数について理解を深めるとともに、斜面安定計算演習や圧密沈下計算演習を通じて切土・盛土設計に関する基本的知識を習得する。	
	15	構造物設計演習(擁壁)	10/30	"	40人	●	●	構造物設計のポイント、重力式擁壁及び逆T式擁壁の安定計算、擁壁設計におけるミス事例により理解を深め、擁壁設計に必要な基本的技術を習得する。	
	16	仮設構造物設計演習	12/ 5	"	40人	●	●	仮設構造物設計に際しての留意点・注意事項等について、「土留め工」を対象としてそのポイントを解説するとともに、設計演習により適切な計画の立案、設計が行えるよう実務能力の向上を図る。	
上下水道	17	水道	11/28	私学会館	40人	●	●	安全、安心な水道の持続的な供給を可能とするため水道行政の現状を知るとともに、水道経営の課題や水道事業の広域連携の事例を学び、水道施設の危機管理に関する知識を習得する。	
	18	下水道 【オンデマンド】	1/15 ~2/13	-	-	●	●	下水道事業の概要、管渠・施設のストックマネジメント計画の策定手法、雨水対策手法、下水道事業におけるBCP計画の策定手法、機械・電気設備の維持管理など、下水道に関する基本的知識を習得する。	
新技術・現場	19	現場研修	12/25	調整中	40人	●	●	県内の土木工事及びまちづくりについて、実際の現場を見学しながら研修することにより、土木技術者としての実務能力の向上を図る。〔ICT活用も含む〕	
	20	公共測量基礎講座 【ハイブリッド】	10/22	私学会館	60人	●	●	公共測量に関する諸手続や専門的な知識を習得し、公共測量の品質を確保するための実務能力の向上を図る。	
まちづくり	21	土地区画整理研修	6/18	私学会館	40人	●	●	土地区画整理業務に携わる職員を対象に、区画整理をめぐる最近の話題、区画整理のしくみ、換地設計、換地計画のしくみ、事例紹介等に関する研修により、基礎知識と実務能力の向上を図る。	
	22	まちづくり研修	2/ 6	調整中	40人	-	●	まちづくりに携わる職員を対象に、参画と協働によるまちづくりを効率的、効果的に進めるために、市町職員のみならず必要能力(基礎知識や政策形成能力)の向上を図る。	

## ▶▶▶ 専門分野別研修(対象者が限定される研修)

部門	研修コース		日程	会場	募集人数	対象者		研修目的
						県	市町	
OJT	1	砂防OJT 《兵庫県と共催》	7/14~16 7/28~30	西脇市ミライエ 加東土木事務所 ※) 事業課へ直接の募集を行います	10人	●	-	「ひょうご土木技術マイスター」及び県職員の指導のもと、砂防堰堤の概略設計及び手書き図面の作成など設計演習を行うことにより、若手技術職員の育成を図る。
	2	河川OJT 《兵庫県と共催》	8/ 5, 19 8/27, 9/2	加東土木事務所 豊岡土木事務所 姫路土木事務所他 ※) 事業課へ直接の募集を行います	40人	●	-	「ひょうご土木技術マイスター」及び県職員の指導のもと、流域からの流出量や河川の流下能力の算出等を行うことにより、若手技術職員の技術力向上を図る。
	3	橋梁点検OJT	1/19	"	20人	-	●	「ひょうご土木技術マイスター」等の指導のもと、橋梁点検の留意点や健全性を判断する際の視点について、座学と実地研修を行うことにより若手技術職員の育成を図る。

# 研修カレンダー

県職員階層別研修  
 市町職員階層別研修  
 O J T

開催日		研修名	分野別
5月	7日	主幹・課長	県
	13日～14日	ダム（基礎・実務）	専門
	14日～16日	新規採用（前期）	県
	22日～23日	新人・初級〔前期〕	市町
6月	18日	土地区画整理	専門
	23日	フォローアップ（前期）	県
	26日	詳細設計と現場のチェックポイント 【ハイライト研修】	専門
7月	3日	地盤調査（土質設計演習基礎）	専門
	18日	道路計画演習	〃
	7/18～8/12	災害復旧実務 【オンデマンド研修】	〃
8月	1日	コンクリートの基礎知識 【ハイライト研修】	専門
	1日	フォローアップ（後期）	県
	8日	交差点計画演習	専門
	22日	地盤調査（切土・盛土設計）	〃
	26日	砂防及び急傾斜地	〃
	29日	アスファルト舗装の基礎知識 【ハイライト研修】	〃
9月	18日～19日	新規採用（後期）	県
	9/25 10/2・3	新人・初級〔後期〕	市町

開催日		研修名	分野別
10月	10日	P C 橋 【ハイライト研修】	専門
	17日	土木機械設備（河川・海岸）	〃
	22日	公共測量基礎講座 【ハイライト研修】	〃
	30日	構造物設計演習（擁壁）	〃
	22日～24日	新規採用（実習）	県
11月	7日	主任	県
	14日	主査	〃
	21日	中級	〃
	28日	水道	専門
12月	5日	仮設構造物設計演習	専門
	10日	現場監督実務	市町
	25日	現場研修	専門
1月	14日	河川講習会	専門
	1/15～2/13	下水道 【オンデマンド研修】	〃
	30日	道路橋メンテナンス	〃
2月	6日	まちづくり研修	専門
3月	調整中	春の現場見学会〔親子参加〕	—

## ■ O J T

7月	14～16(前期) 28～30(後期)	砂防(第1回)	専門
11月	5～7(前期) 26～28(後期)	砂防(第2回)	〃
8・9月	8/5, 19, 27 9/2	河川	〃
1月	1/19	橋梁点検	〃

## ■ 年間通じて録画配信 【オンデマンド研修】

年間 配信	配信中	災害復旧制度	専門
	配信中 2/27まで	地盤調査（土質試験）	〃
	1/13～ 2/27	公共測量基礎講座	〃

**Check**



**現場立会のチェックポイントを動画で紹介しています！**

現場経験が少ない職員向けに立会時のポイント等をまとめた解説動画を公開しています。

**『コンクリート構造物編・配筋検査(基礎編)・道路土工(盛土編)』**

[https://www.hyogo-ctc.or.jp/ctc/training/webken/explanation\\_site/](https://www.hyogo-ctc.or.jp/ctc/training/webken/explanation_site/)



公益財団法人  
兵庫県まちづくり技術センター 企画部 企画調整課（研修担当）

〒650-0023 神戸市中央区栄町通6-1-21

☎ 078-367-1224 E-mail kenshu@hyogo-ctc.or.jp URL <https://www.hyogo-ctc.or.jp>

